

# 児童発達支援自己評価表

## 事業所における自己評価結果(公表)

公表 令和6年3月19日

事業所名 大津市立北部子ども療育センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動によってホール等を利用しながら環境(空間を作る)を考えて取り組んでいる	和室、更衣室、保健室を兼ねている場所についてはより工夫や改善が必要である
	2	職員の配置数は適切であるか	○		出席児童数に合わせて職員数を考えている	療育のあり方(職員配置数)等を、3療育で検討している
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		別棟前に屋根がつき、遊ぶ際に活用している	別棟への通路の、雨の降り込みや、バリアフリー化等の見直しが必要である
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		夏季は、朝夕の日差しで室温が上がるため、カーテンやすだれで調整している生活空間が狭いためホール等を活動内容に合わせて活用している	夏季は、部屋の室温が上がらないように工夫しているが、下がらないことも多いため、改善が必要である。また、床など施設の老朽化があり、改善が必要である
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		療育目標会議や月案検討会議、ケース会議、総括などいろいろな職員が参加し、全体で振り返りを行なっている	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者の願いや意見を把握し、療育が充実できるように保護者の視点に立ち改善できるところはすすめている	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで園の行事や評価などを保護者室で開示、公表している	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		苦情委員会等第三者の外部評価を受けている	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		Drやリハビリスタッフを講師に発達や保護者支援についての学習会を定期的に行っている(オンライン研修も含む)	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		児童発達支援管理責任者、発達相談員も含め、分析を定期的に行い、支援計画を作成している	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		期ごとに会議をもち、支援内容を検討、作成している	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		一人一人に合わせた療育(支援)が行なわれているか等定期的に総括をしている	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		各クラスで検討し、実施、反省を行っている	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		朝礼、総括などで、各クラスの活動について職員が把握、理解している	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	○		児童発達支援管理責任者と子どもの状況を会議等で共有し、支援計画を作成している	

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日の朝礼、クラスの療育内容や保護者支援等の打ち合わせで確認している	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		クラス担任間で振り返り、児童発達支援管理責任者と共有しながら、次の支援を計画している	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		その日の振り返りを日々の記録や個別支援計画作成にも反映している	
関係機関や保護者との連携	20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		モニタリングから支援計画に反映している	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		サービス担当者会議を行い、職員全員が参加し、情報共有している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		地域のすこやか相談所や健康推進課、子ども家庭相談室等と連携しチームで支援している	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		北大津養護学校や小児保健医療センターと連携をしている	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		必要なケースは子どもの受診に保護者の同意の下受診同行し、情報交換をしている	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		引継ぎ、卒園児訪問、研修などで情報共有や連携を図っている	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		特別支援学校(小学部)や盲学校等の情報共有をしている 個別ケースの申し送り書や学校訪問を実施している	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		障地連で他都市との情報交換や研修を受けている やまびこ教室、のびのび教室との連携をしている	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		和邇保育園と園庭で交流する機会をもっている	近隣にある家庭的保育室との交流も検討している
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		在籍する児童や地域の児童育成のために子育てネットワーク会議に参加して地域支援に活かしている	
保護者への話	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		親子登園やクラス懇談会、学習会を通して確認している	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		発達学習会や子育て講座等を保護者の様子に合わせて取り入れ、子ども理解が深まる保護者支援プログラムづくりを実施している	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時やオリエンテーション等で丁寧な説明をしている	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		児童発達管理責任者と担任が作成した支援計画を保護者に丁寧且つ分かりやすく説明し、同意を得ている	

説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		一人ひとりの保護者に寄り添い、子育ての悩みなど相談に乗る体制づくりをしている	今後も保護者が求めているタイミングを常にキャッチして対応していく
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		父母の会はないが親子登園、行事、交流会等で図っている。また卒園した親子が交流できる機会をもっている	
非常時等の対応	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		迅速な対応ができる体制で実施している	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		わくわくだよりやクラスだより等の配布物で知らせると共に親子登園日に詳しくねらいや意図等を説明している	今年度、3療育で通信の内容を精査し次年度も配布する
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		定期的に全職員で確認し、周知徹底している	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		一人ひとりに合わせた対応をしている	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	○	通所児の家族の祖父母を招待し、園を知ってもらう機会を持っている	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		いろいろな場合を想定して計画し、保護者も参加できるように実施している	避難するためのサイレンが本館と別棟がつながっていないため、連絡方法や訓練で安全に避難できるように努めている
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		消防計画を作成し、月に1回避難訓練(消火訓練含む)を定期的に行っている	
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	○		保健担当(看護師)と共に状況を聞きとり、共有している		
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		食事委員会(保健担当、保育士、用務担当)を中心に食物アレルギー対応をしている。		
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		朝礼や打ち合わせ等、全職員に会議で周知し、改善策を検討し実施している		
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		ケース会議を開催し、適切な対応をすすめている。子ども家庭相談室と連携できる体制をつくっている オンラインで研修を行った		
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している					